

令和2年度大田圏域地域保健医療対策会議  
大田圏域地域医療構想調整会議 議事概要

【日時】令和3年2月25日（木）14時～16時00分

【場所】大田市民会館 中ホール

【出席者】医師会、病院、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、歯科衛生士会、  
保育研究会、商工会議所、社会福祉協議会、食品衛生協会、公民館連  
絡協議会、消防本部、市町、介護支援専門員協会、訪問看護ステー  
ション、健康保険協会、健康保険組合連合会  
計26名（保健所を除く）

【議事内容】

1. 議事

- (1) 島根県保健医療計画見直しの背景・経過について
- (2) 島根県保健医療計画（大田圏域編）の中間見直しについて

2. 報告

地域医療構想進捗状況（令和3年2月現在）  
医療介護総合確保促進基金事業について  
新型コロナワクチンについて

【主な意見・協議結果】

所長：今年度から来年度にかけて中間見直しを行う。委員の皆さんに素案を協議いただく。関係機関との取組の指針になるため、熱心な協議をお願いしたい。

1. 議事

- (1) 島根県保健医療計画見直しの背景・経過について
- (2) 島根県保健医療計画（大田圏域編）の中間見直しについて

資料により説明、続いて意見交換

邑智病院)

・p6 の下表は大腸がんに加えて、胃・乳がんも治療可能なため追加してほしい。

・p27 邑智病院は邑智郡立として支出しているため美郷町も管轄だが、美郷町に立地していないということだと思う。書き方を修正してほしい。

→保健所) いただいた意見のとおり修正する

・p29 救急受け入れ件数は 2018 年 654 件、2019 年 622 件であり、浜田圏域や広島県から受け入れている件数がカウントされていない。

・p45 図の左枠内 北広島病院は正常分娩やっていないため、削除して欲しい。右枠リスクのある分娩は島大付属病院に 1 本化したため県中は削除してほしい。

邑南町)

・p45 三次中央病院は人工呼吸器管理対応している。

・p10 急性心筋梗塞の予後を左右するのは、時間である。日本だけが時間かかっているのは、患者が自覚してから 119 番をするまでの時間である。そのため、救命率向上のためには、病院前救護体制の一般住民対象の講習会は重要だが、胸痛の自覚した場合に救急車を呼ぶことも啓発してほしい。

→保健所) 胸痛自覚した際の事柄については追加する

・p11 ①専門医療機関到着後 30 分以内に治療開始…の記載は 90 分の間違いだと思う。専門的医療開始ではないと思うため、「開始」は削除した方が良い

→保健所) ガイドライン確認し、変更

・p33 ⑤ 圏域内の地域医療支援体制について「総合的な」検討の「総合的な」とはどういう意味か？国が進めている地域医療構想の中で、公立公的病院の統廃合等の指標が出されているが、圏域内にて役割分担や統廃合を検討してはどうかという趣旨なのかと思い、危惧を抱いている。

→保健所) 公立病院再編統合の関係ではないことを理解いただきたい。

仁寿会)

・p25 うつ病連携の現状で精神科医療機関の中に、加藤病院も石東病院から来てもらっているため、記載が妥当だと思う

邑南町)

・救急医療・循環器の項目等で、高次医療が求められる場合は広島へ送ることがある。以前は具体的な医療機関名を記載してもらっていたが、ドクターヘリに関連したものしか記載がない。何か考えがあって、このようにしているか？入れてもらうことが可能か？

→保健所) 可能であるため、後日ご教授いただき、記載内容の修正する。

健保連)

・p4⑤がんの関係で患者支援の治療と就労の両立のところ、ハローワークや産業保健センター等との連携と記載があるが、通院をされる際に休暇を取ることになるが、時間休は労使協定等で決める必要があるため、事業所の方で体制

をとってもらふ必要がある。労働局等の行政を入れていく必要があると考えているため、ご検討いただきたい。

→保健所) 労働基準監督署を記載したい。

邑南町)

・資料 2-1 裏側に「診療看護師」記載してあるが、資料 2-2p35④には「特定行為に関わる看護師」と記載してある。邑智病院では診療看護師と扱っているが、行政の扱いを教えてください。

→保健所) 厚労省の文書では「特定行為に関わる看護師」と記載が多い。同様だと認識している。

→看護協会) 違いはないと思っている。

→大田市 医療) 診療看護師と特定看護師は異なっており、診療看護師は全ての特定行為ができる者、特定看護師は 38 項目中一部の項目ができる者。昨年県立大学が養成機関となっている。

邑智郡歯科医師会)

・p13(3)③ 歯周病の関連で医科歯科連携が重要とあるが、何を食べるのかという食事も重要で、咀嚼能力が低下すると食べられる物が制限されるため糖尿病も悪化する。早食いの項目について早食いの人は糖尿病に罹患することが多いということが言われている。歯科医療の中で、栄養摂取だけでなく咀嚼能力、口腔ケア等も入れてほしい。

→保健所) 逆に質問したい。一般的に歯科医療を受診すれば、食事指導等対応してもらえるのか? →邑智郡歯科医師会) 食事指導は難しいが、患者が困って来院されるため、疼痛を取ることは可能だが、疼痛の有無の間で食材の選択肢が減っている。歯科診療行為の中で食事の変遷が起きていることは確かで、今まではコミットできなかったが栄養士等とも話をしながら対応を考えたい。糖尿病の予防や治療の切り口として考えることができるのではないかと考えているが、歯科診療所だけでは難しい。

→保健所) 記載の仕方を考えたいが、研修等をうまく使いながら考えたい

→大田市歯科医師会) 医・歯・薬科連携の糖尿病に関連して、研修会を企画している。大田圏域で 6 件歯科診療所が廃院しており、難しい状況がある。薬剤師との連携も必要になってくる。在宅患者がどう生活を送れるかということを考える必要があり、急性期や慢性期から在宅に帰る際、歯科との連携もできるような病診連携を考えたい。

邑智郡歯科医師会)

・総合医の育成プログラムはあると思うが、中山間地の歯医者には少なくなって

おり、総合医に歯科医療をカバーするスキルを持ってもらえればと思っている。総合医は邑智病院に来ているが、そこに歯科医師の観点を盛り込むことが可能かどうか。

→保健所) 名称独占になっているため、どう考えていくかという意見を聞きたい

→邑智病院) 絶対的歯科医行為等があるため、医師がやって良いこともあると思うが、法的に定められている。虫歯を削ることなどは医師にはできない。どういう行為を想定しているのか？

→邑智郡歯科医師会) 栄養状態が悪い患者に対して、その人が何を食べているのか？の前にこの人ちゃんと噛めているのかという視点も大切だと思う。高齢者は自身で噛めているのかわからない人もいるため、それに気づくかどうか重要なポイントになると思う。気づくためにはある程度、勉強してもらう必要がある。

→保健所) 色んな場面で総合医に歯科にも関心を高めてもらうようにしたい協会けんぽ)

・新型コロナについては3月の医療審議会で検討されるということだが、対応医療機関の状況等具体的なデータ等について当会議で示してほしい→保健所) 現段階で保健所の方から提示できるとは言いがたい。今まで報道で医療機関を提示しておらず、県との調整が必要だと考える。

大田市立病院)

・地域医療支援体制について、大田市の開業医が減っているため、4月から総合医中心に出張診療を行っている。総合医育成センターの育成の場となること、地域と関わりを持って包括ケアのモデル地区になるとよい。また病院間連携で協力していきたいと思っており、小児科では邑智病院へ派遣、精神科では石東病院から派遣してもらっており、お互いを補いながら強化していきたい。今日の内容は圏域課題が網羅されると思っている。文章にするのは簡単だが、魂を入れることが重要。医師も、財源も不足しているため、なかなか難しいと思うが保健所に協力いただきやっていきたい。

・p15 図 真ん中の枠内について大田市立病院は\*1~5 全て対応しているので修正してほしい。

石東病院)

・4病院連携に絡んで各病院に派遣しており、少しずつ精神科アクセスが改善していると思う。遠隔診療についても充実させていきたい。

邑南町)

・資料 2-2 について、大田計画のたたき台か？主語やデータが県であったり、圏域であったりするが、それぞれを明確にしてもらう方がわかりやすいと思う→保健所) おっしゃる通りであるため、工夫したい。

美郷町)

・今の医療動向等の現状課題が必要であるため、次回の会議等で提示していただきたい→保健所) 中間見直しということで平成 30 年度のデータをベースとしているが、状況が変わっているものについては変更をしていきたい。

## 2. 報 告

地域医療構想進捗状況（令和 3 年 2 月現在）

医療介護総合確保促進基金事業について

新型コロナワクチンについて

資料 3-1～3-3 により説明

・大田市医師会) 報告資料 3-3 について、従事者 420 名ぐらいを大田市立病院の 1 角で実施するが、バイアルを希釈するやり方が難しいため、動画でもあればと思う。早めにワクチン希釈の動画等について保健所の方にご尽力いただきたい。

以上。